

キリスト者学生会北陸地区協力会

K G K

NEWS LETTER 2018.12

No.77

発行日/2018年12月 発行責任/北陸地区協力会

連絡先/北陸地区KGK：〒930-0851 富山県富山市奥田双葉町1-40 飯沼方

郵便振替：00790-5-45068 KGK 北陸地区公式 HP アドレス：<http://church.ne.jp/kgk-hokuriku/>

◆ 愛された者として ◆



小川 真 (KGK 卒業生担当主事)

「愛する者たち。神がこれほどまでに私たちを愛してくださったのなら、私たちもまた、互いに愛し合うべきです」(Iヨハネ 4:11)

私は牧師家庭で育ちました。高校時代まで、自分がなぜ礼拝に行くかといえば、それは仲の良い友達に会えるからでした。また2階から降りれば礼拝堂があるからでした。そんな状況なので、大学に入って山梨県に引っ越した私は、教会に行ったり行かなかったり、なんだか神様のことはよく分からないという信仰生活を送っていました。

そんな私のことを、教会の方々が熱心にサポートしてくださったのです。引っ越したばかりの私に、大学の授業の取り方や単位を取得する方法を教えてくれたり、「ラーメン食べに行こう」とご馳走してくれたりする大学の先輩がいました。その先輩に「KGKで聖研しよう」と言われてしまったので、しびしび集うようになりました。また、「今度の日曜日の午後うちにうちでBBQするからおいでよ」と語ってくださるご夫婦がいました。「さすがにBBQだけ行くわけにもいかないな」と礼拝から出席しました。牧師先生が「祈禱会前にご飯を用意しているからいつでも来て」と言ってくださり、サラダを食べるために祈禱会に出続けました。

振り返ると、本当に教会の方々に支えられた学生時代だったなと思うのです。犠牲と忍耐を持って私に関わってくださった方々への感謝は尽きることがありません。

さて、私は大学を卒業した後、2年間IT企業に勤めました。なかなか仕事を覚えられない自分に落ち込んだり、大きな責任を担うことへの緊張を覚えたり、もがきながら働いていました。

そのような葛藤を覚えながら働いていた私にとって、ひとつの印象深い出来事があります。それは、ある昼休みのことでした。KGKで大変お世話になってきた竹内さんという先輩が私の職場を訪れてくださり、オフィスの中で一緒にお弁当を食べたのです。私の目の前には、お弁当と保険証券が置かれていました。そう、竹内さんは、保険販売員だったのです…。それはさておき、そのランチは私にとって、とてもうれしい時でした。社内のクリスチャンと言えば私一人だけ、祈るときもいつも一人。しかしクリスチャンが来てくれたおかげで、初めて二人で祈れたからです。短い祈りの時でしたが、イエス様の御名によって祈る交わりをもてたことが、本当にうれしく励まされたのです。

今私は、そのような経験を思い出しつつ、KGK卒業生会担当主事として職場訪問をしています。それも、仕事後ではなく、ランチの時間に職場の食堂に行きます。自分の実感でもあるのですが、どうしても職場は信仰とは無関係の世界のように感じてしまいがちです。だからこそ、午後の働きに入る前、イエス様のことを思い、祈ることがとても大切なのです。働きのため、隣の席の方のため、救いのため、仕事を通して主の御心が地に現わされるために。まさに、学生時代に学内で祈り会を持ち、この学内に神の国が広がるようにと祈った私たちは、卒業後も、キリストの心を持って職場に遣わされるのです。

なお、いろいろな職場を訪問してみて分かったことは、意外と、社外の人も社員食堂に入れることです。また平日に会うのが無理であっても、日曜日に教会で話を聞くこともできます。仕事で押しつぶされそうになっている新社会人は多いので、教会が互いの働きを励まし合うことができれば大きな力となることと感じています。

私たちは、神の愛を受けた者です。また信仰の先輩から愛を受けてきた者です。そのような大きな愛を受けた者として、私たちは若者たちを愛し、仕えていきたいのです。



10月7日(日)から8日(月、体育の日)に北陸地区卒業生合宿がありました。講師に関西地区主事池淵主事をお招きし、「聖書から学ぶ恋愛・結婚」をテーマにメッセージをして頂きました。2日間は短くも密度の濃い、参加者それぞれが考えさせられる学びの機会となりました。

独身の頃にどう過ごしていくのか、恋愛を進めていく中で気を付けるべきこと、結婚で大切なこととは何かを聖書から学びました。僕自身が今年の5月に結婚したこともあり、独身時代、交際していた頃、そしてこれからの結婚生活のことを振り返り、また考えさせられました。限り

はありますがいくつかこの場を借りてシェアさせていただきます。

独身時代に気を付けるべきことは偶像を作ってしまう危険があることです。「結婚」、「恋愛」それ自体が偶像になり得ますし、理想の期待のパートナー像もまた偶像になり得ます。「恋に恋する」といったフレーズも聞かれることありますが、僕もそのような危うさがあったように思いますし、これからも気を付けなければいけないことです。

恋愛の段階について、自分の人生を主体的に自分で選び取っていくことが大事と教えられました。良い人と巡り合えるように祈り、願う訳ですが特に行動を起こさずただただ待つ結果が変わることを期待することは好ましいとは言えません。もちろん猪突猛進にならずに慎重に祈り、待つことも大事ですがアクションを起こすのは他ならぬ自分自身です。神様は勇気を与え、助けを差し伸べてくださいますが、行動するのは自分自身です。まさに主体性が重要であり、アクションを起こすための勇気を与えてくださいと祈るべきだと思いました。(かつては僕なりに色々行動をしてみたつもりですがそのことは割愛します)

結婚において「誓約」が大事であることを改めて学びました。結婚式の場で誓約を神様の前にします。「幸いな時も災いの時も、富んでいる時も貧しい時も、健やかな時も病の時も、あなたを愛し、あなたを敬い、あなたを守り、あなたを導き(従い)、生涯あなたとともに歩みます」以上の誓約の言葉は生涯をかけて実行していくべきものです。結婚式の場限りで終わってしまうのではなく、折に触れてお互いに確認していくべきなのです。例えば結婚記念日に思い返すのも良いのかもしれませんが。

今回の卒業生合宿は25名と多くの参加者が与えられました。卒業を控えた学生、交際で悩んでいる方、パートナーが与えられるよう祈っている方などそれぞれ参加者の置かれている状況は異なります。また都合で参加できなかった方達もおられました。それぞれが神様との関係を大事にしながらいっしょに進んでいけますように。学びの機会を与えてくださった神様に感謝します。

飯沼主事の活動報告



お祈りお支えくださりありがとうございます。

9月以降の活動を報告させていただきます。

9月に全国主事会が開かれました。一人地区の主事として他の主事との交わりは尊く、共に学生伝道の働きに携わる主事たちと悩みを分かち合ったり、祈りあうことができ英気を養って後期をスタートさせることができ感謝なひと時でした。

学生たちの長い夏期休暇の最後に福井、富山で県別祈祷会が持たれ、学生達とも祈りをもって期待し、主に委ねて後期に入ることができました。

10月は卒業生合宿が開かれ、講師の池淵主事から、聖書から語る恋愛・結婚というテーマで講演していただき、独身をどのように生き、祈り、備えるのか共に学び、夜遅くまで参加者が語り合っていました。

また協力会セミナーも開かれ天皇の代替わりを前に、山口契先生より天皇制と天皇の役割について改めて考えさせられ、日本に生きるクリスチャンとしての生き方に目を向けさせていただきました。

学生会では後期の日程を決めると同時に、学祭などで忙しくしている姿も見えましたが、ある学内では学際時にチラシ配りを行い、それをきっかけに聖研に足を運んでくれるノンクリスチャンもおり、祈りと勇気をもってチラシ配りを行った恵みを早くも見せていただくこととなりました。

10-11月にオーストラリアのミッションが金沢中央教会に来るということで、KGKとも多くのコラボを行い、励まされると同時に、日本の宣教の現状を知ってもらう良い機会となりました。

11月は「聖研行ってきます月間」が行われ、各大学を励まそうと学生たちの行き来が盛んになりました。学生たちもこの期間を通して、多くのノンクリスチャンに来てもらい、12月のクリスマス会の足掛かりとしたいと願いつつ、聖研を行っていました。

キャンパスレポート



学生に KGK をご紹介くださり、KGK にも学生をご紹介くださいましたら幸いです。

- T 大 : T キャンパスでは、学祭で忙しい中ノンクリスチャンが集まり共に聖書を開くことができます。また、ノンクリスチャンも県別祈祷会に参加して、「祈る」ことを共に学ぶことができます。
- K 大 : K キャンパスでは、学祭のチラシ配りを通して、留学経験者のノンクリスチャンが参加してくれました。彼らが続けて聖書研究会に参加できるようにお祈りください。
T キャンパスでは、学生たちと先生が集い、共に聖書研究をしています。医療の現場に出ようとしている学生が、「人を生かす」御言葉を持って社会に出ていく備えができるようお祈りください。
- KB 大 : 黙示録の聖研をしながら、こんな姿だったのではと絵を書き、視覚を通して聖書を楽しんでいます。集っているノンクリスチャンが救われるようお祈りください。
- KK 大 : 聖研メンバーが友人を誘いノンクリスチャンが集う聖研がなされています。クリスチャンの先生も見つけることができました。学内で続けて御言葉を聞き、救いに導かれるようお祈りください。
- KG 大 : 学生が忙しく、今年度聖研を開くことができていませんが、志が与えられて、祈り会や聖研を学内で行うことができるようお祈りください。
- F 大 : B キャンパスでは、クリスチャン留学生が一人帰国しました。忙しくしている学生たちが時間を合わせて聖研を開き、ノンクリスチャンが集うことができるようお祈りください。
M キャンパスは今年度、活動が休止していますが、ノンクリスチャンが FK 大の聖研に来てくれます。御言葉を受け入れ、救いに導かれるようお祈りください。
- FK 大 : 後期には隔週で聖研をすることができています。学生が少ない中で、手伝ってくださる県大の先生と共に祈り、担い手がさらに与えられていくようお祈りください。
- FK : 多くのノンクリスチャンが集っていますが、クリスチャン学生が卒業予定であり、存続が危ぶまれています。クリスチャン学生が見つかり、続けて聖研の場を提供できるようお祈りください。
- HG 大 : 聖研をしたいと思っているノンクリスチャンがいます。今のところ、県の合同聖研に出席していますが、学内で聖書研究を開くことができるようお祈りください。

その他、KGK に関わっている学生がいる学内や学内活動のない学校で祈り会や聖研が始められるようお祈りください。またご紹介いただいている学生たちとコンタクトをとり、交わりが与えられ、KGK 活動に関わってもらえるように適切な働きかけができるようお祈りください。

お知らせ



各県卒業生会（一般）

富山・石川・福井 各県月 1 回 新しく、関西でも北陸地区の集まりが開始されました！
卒業され何年か経過された方、学生時代 KGK に参加されなくても興味がある方など、ご参加頂ければ幸いです。参加される方は飯沼までご一報ください。

卒業生一日集会（一般）

日時：2月2日（土）10:00-12:00 会場：金沢キリスト福音教会（金沢市畝田中 1-86）
テーマ：「卒業生会専任主事を囲む会 ～卒業生会について一緒に考えませんか?!～」
講師：小川真主事（KGK 卒業生担当主事）

第 24 回 協力会講演会&総会（学生・一般）

日時：2月2日（土）13:00-16:00 会場：内灘聖書教会（河北郡内灘町千鳥台 3-13）
テーマ：「若者の教会に対してのイメージ」（講演会 13:00-14:30）
講師：小川真主事（KGK 卒業生担当主事）

2.11 集会（学生・一般）

日時：2月11日（月・休）13:30-16:30 会場：金沢めぐみ教会（金沢市福久東 1-68-3）
テーマ：「岩手靖国違憲訴訟と今日の課題」
講師：渡部敬直先生（高岡バプテスト教会 協力教師）

春期学校（学生のみ・卒業式に一般の方は集うことができます）

日時：2019年3月14（木）-16日（土） 会場：キゴ山少年自然の家
テーマ：未定 講師：未定

EAGC（東アジア地区卒業生大会）（卒業生）

日時：2019年8月9（金）-13日（火） 会場：国立オリンピック記念少年総合センター
テーマ：和解 講師：Chris rice、菅家庄一郎先生

転勤などで住所を変更された方は、飯沼までご連絡ください。